



ほけんだより

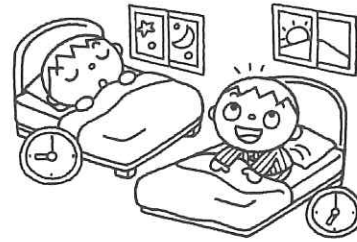
2022.12

寝屋川なかよし保育園・第2寝屋川なかよし保育園



早いもので今年も残り3週間となりました。何かと慌ただしい12月、大人も子どもも生活リズムが崩れやすい上に、感染症も心配な時期です。手洗い・うがいを欠かさずに、規則正しい生活と十分な休息を心掛けましょう!!

園では保育室、ホールに暖房器具、加湿空気清浄機を常備し、快適に過ごしていますので、なるべく厚着はせず、脇の汗を吸収出来る様、半袖の下着を着せて頂くようお願い致します。



感染症経路別 感染症と予防策

空気感染 病原体を含む飛沫の水分が蒸発したのち5ミクロン以下の『飛沫核』となり空気の流れにそって広く拡散する。この飛沫核を吸い込むことで感染する

《代表的な感染症》麻疹(はしか)、水痘(みずぼうそう)、結核など

飛沫感染 咳、くしゃみ、会話などのしぶきに含まれる病原体が直接短距離にある結膜、鼻粘膜、気道粘膜などに付着して感染する(感染源から1~2m以内)

《代表的な感染症》インフルエンザ、マイコプラズマ、溶連菌性咽頭炎、RSウイルス、流行性耳下腺炎、風しん、百日咳、髄膜炎など

接触感染 直接接触(皮膚や粘膜)あるいは病原体に汚染された物(ドアノブ、手すり、遊具等)の間接接触により感染する

《代表的な感染症》腸管出血性大腸菌感染症(O-157等)、感染性胃腸炎(ノロウイルス、ロタウイルス)、赤痢、ウイルス性出血熱(エボラ、ラッサ)など

- 《予防策》
- 自分を守る 近隣者を守るためにも予防接種は積極的に受ける
 - 手洗い(30秒以上かけて洗う)、うがいの励行
 - 換気をする(最低でも1時間に1回)
 - 咳エチケット、マスクをする(鼻と口をきちんと覆う)
 - 生ものを控える(中心温度85℃以上1分加熱)



嘔吐下痢症が流行する季節です

ノロ、ロタ、アデノ等のウイルスによる嘔吐下痢症が流行します。感染者の嘔吐物や便には多量にウイルスが含まれており、手を介しての接触感染や汚染された食品によって感染します。ウイルスに感染していても症状を示さない不顕性感染もあります。また、回復後も便からウイルスを排出し続けている場合があります。

＜症状＞ロタウイルスは嘔吐から始まり、度重なる下痢に移行します。

感染しやすく集団感染を起こしやすいのが特徴です。

急速な脱水に注意が必要です。

＜感染予防＞手洗い・うがいが最も重要です！食前・食後・トイレ後・外出後の

手洗いはもとより生活の節目で流水による手洗いが大切です。

ウイルスは85℃で1分以上加熱すると感染力はなくなります。

また嘔吐物・汚物処理の消毒には次亜鉛素酸ナトリウム

(商品名:ハイター・ミルトン・ピューラックスなど)が効果的です。

★園で職員は嘔吐対処時、マスクの他にグローブ、防護服を装着し、できるだけ感染が広がらないよう対策を行なっています。



病名	病状・注意点	登園可・否	治癒証明
RSウイルス感染症	このウイルスは冬から春にかけて流行し、乳幼児気道感染症の重要なウイルスで呼吸器系に感染する。鼻水、咳、発熱などのかぜ症状がみられる。感染力が強い。	登園可・不可は医師の判断による	感染力が強いため、ほとんどの場合で入院に至る。入院時、自宅療養の場合どちらも登園時に証明が必要
インフルエンザ	感染から2~3日で症状が現れる。発熱、関節や筋肉の痛みがひどい。鼻づまり、鼻水、喉の痛み、咳などの症状で乳幼児の場合インフルエンザ脳症に要注意。	登園不可 (第2種学校伝染病)	必要
カリシウイルス(ノロウイルス)感染症	感染性胃腸炎の原因となるウイルス。主に人の手指を介して感染し、嘔吐、下痢、発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛、腹痛などの症状があり、腹部けいれんを伴うこともある。幼児から大人まで幅広く、非常に感染力が強い。	下痢がある時は基本的には登園を控える	必要
ロタウイルス	冬期下痢症とも言われ、しばしば集団発生する。頻繁に嘔吐があり、その後下痢が続く。便が白っぽくなるのが特徴。	下痢がある時は基本的には登園を控える	必要
溶連菌感染症	急な発熱、喉の痛みや頭痛など。全身に発疹が出て、舌が赤くぶつぶつとしたイチゴ状になることもある。何度でも感染し、大人にも感染する。	医師の判断により登園可	必要
マイコプラズマ感染	発熱で発症し、1~2日遅れて咳が出てだんだん強まっていく、というのが典型的な経過。咳は最初は空咳、次第に痰がからんでくる。頭痛、全身倦怠感、咽頭痛を伴うことも多く、初期には上気道炎(いわゆる風邪)と診断される事も多い。	登園可・不可は医師の判断による	必要

◎ 治癒証明の要・不要については「子どもの病気について」で必ずご確認ください